

WG2の今後の取組について

○ 「情報コンテンツ集(例)」について

- ・障がい者等の関係団体ヒアリング(参考資料5-11)の結果や訓練の結果を踏まえ、内容を追加、修正。

○ 「教育・訓練プログラム」について

- ・障がい者等の関係団体ヒアリング(参考資料5-11)の結果や訓練の結果を踏まえ、内容を追加、修正。

※ 外国人来訪者や障がい者等に配慮した個別対応訓練の基本的な想定や、施設の特徴に応じた情報伝達・避難誘導の工夫などについて検討。

- ・上記のほか、次の①～⑤について、検討。

①情報伝達や避難誘導について、従業員等の「発災直後」の行動と「避難後」の行動とを分けて、それぞれの行動の目的や考え方の整理

②発災直後の初動対応における「やさしい日本語」や Plain English による避難誘導による避難者の安全・安心の確保

③火災や地震発生時において、外国人来訪者に配慮した情報提供・避難誘導を行うために、最低限身につけるべき「やさしい日本語」の例文(5～10程度)

④現場(建物各所)での外国人来訪者や障がい者等の避難誘導等における身振りや手振りの組み合わせ

⑤旅行者等のスーツケース等の荷物が避難誘導の課題となるケース